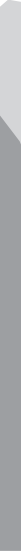


君は体験に 投資してるか

長谷川雅彬



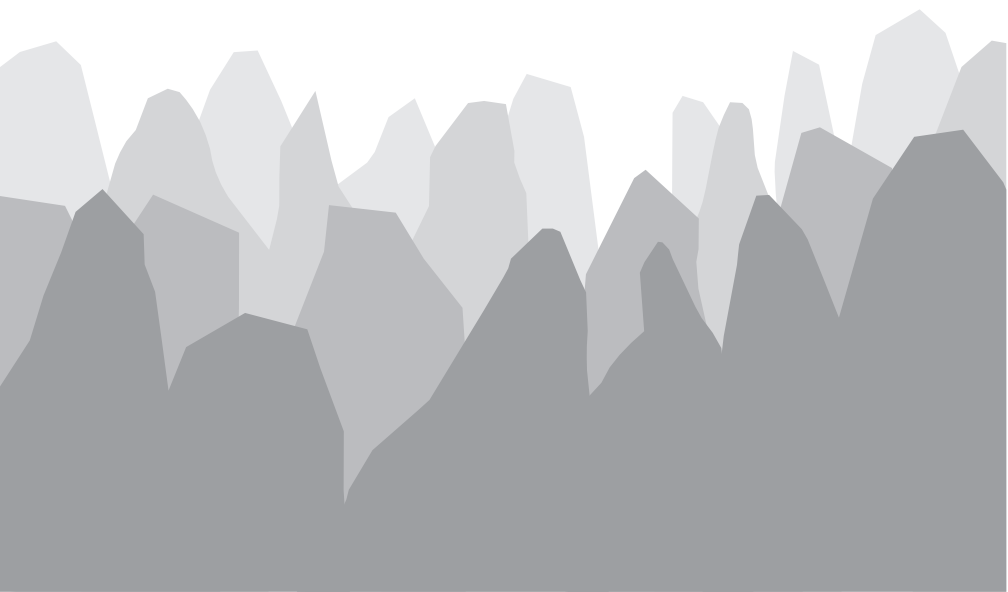
人生は体験だ。

体験が変われば、人生も変わる。

「外には何もない」と決めつけ

「大人だから」と扉を閉じたその向こうには

あなたの知らない世界がどこまでも広がる。



知らない色

耳慣れない言葉

感じたことのない感情

怖さが消える日はきっと来ない。

それでも、勇気は静かに、確かに、

あなたの中で待っている。



いきなり踏み出せなくたっていい。

まずは、その扉に手をかけるんだ。

あなたの人生が動きはじめる。



まえがき

最後に何か新しいことをしたのはいつだろうか？

子供の頃を感じたような興奮や恐怖、言葉にならないような感情や感覚を味わうことは、年を重ねるにつれて減っていくものだ。

気がつけば、大人になるという曖昧な言葉に惑わされ、すっかり好奇心のままに行動するということを多くの人々が忘れてしまう。もともと、そんなことは今に始まったことではないだろうし、いつの時代もそうだったのかもしれない。学生のうちに好きなことをしておけというアドバイスは、大人になったら好きなことや新しいことにトライする機会は減るという、多くの人々にとつての当たり前前の現実を反映しているだけかもしれない。

そもそも何をそんなに恐れているのだろうか？

新しいことを体験するチャンスがあっても、大抵の場合、やらない理由をちようど良く見つけてしまう。仕事が忙しいとか、お金がないとか、家族がいるからとか色んな理由だ。しかも、何か新しいことをすると言ったら、とやかく言っけきそうな連中の顔まで頭の中に浮かび上がってくる。

そう、だからいつも通りの生活をしていることが無難なのだと、ついつい自分に言い聞かせてしまう。

何か新しいことにチャレンジすれば、新しい道が切り開けるのではないか？

誰だって一度や二度はそんな空想にふけたことがあるだろう。ただ、多くの人にとつてそういった空想は空想のままで終わる。なぜだろうか？ 本当に新しい道が切り開けるとしたら、空想に留めず現実に行動を起こす勇気が湧いてくるのではないだろうか？ 新しい体験が、単に思い出や趣味を作ることではなく、仕事や生活の選択肢を広げ、ビジネスパーソンとしての価値を高め、人生を豊かにする最善の方法だと実感できたら、黙って座っていられるだろうか？

誰だって新しいことを始める時には色々と考え過ぎてしまうものだ。しかし、一回とかく考えることをやめて、とにかくやってみようじゃないか。

面白そうだからとペダルを漕いでみて、気がついたら補助輪がなくても自転車に乗れていたあの時のことを思い出して欲しい。ただ、自転車に乗れるようになっただけで、一気に自分の世界が広がり遠くまで行けるようになったはずだ。

ラッキーなことに私はこれまで本当に多くのことを体験できた。

スペインやイスラエルに住むといったことから、さまざまな国での本の出版や、色々な言語での講演やビジネス、数えきれない数のアート作品の展示会やファッションウィークへの参加。

ただ、どれも始めた段階では先行きが明確に見えることはなかった。

数えきれないほどの失敗を重ねながらも、ひたすら体験に投資してきた結果、人生を豊かにする上で測りきれない価値がリターンとして返ってきた。そのおかげで人生における選択肢が大きく広がった。

新しい体験をするということは、思っているほど大したことじゃないし、失敗してもどうってことはない。始めのうちは、この本で読んだことが補助輪の役割をしてくれるはずだ。少しずつ慣れてきたら、補助輪を外し、始める前に感じていた怖さも忘れ、想像もしないくらい遠くに行ってしまうだろう。

初めて自転車に乗れるようになった嬉しさで、気がついたら知らない街に着いていたあの頃のように。

第1章

体験格差社会

新しい世界に触れ、新しい価値を生む

直線的競争の限界

欧米で進む大人の体験投資

スキルはコモディティ化する

勉強と体験学習の違い

第2章

体験を学びと成長に変えるには

体験は塊で意味を成す

リスクマネジメントと恐怖の違い

不快感や恐怖との向き合い方

恐怖は学びの道標

学びを最適化する

79 72 65 58 50

第3章

学習体験をデザインする

ROIからVOIへ

88

自分の価値感を見つける

93

すでにあなたはユニーク

98

体験同士をつなげる

101

そもそも「悩む」とは

106

モチベーションをどう保つか

109

知識と体験

114

実験を加速する

118

体験から価値を引き出すには

121

第4章

自分のパフォーマンスを最大化する

自分への理解は他人との比較ではない

128

自分について調べる

132

徹底的に強みにフォーカスする
集中力が高まった世界
集中する状態と環境に投資する
戦略的休息
家に帰って寝る
パフォーマンスに投資する
値段ではなく価値を基準にする
情報ダイエツト

第5章

戦術ではなく戦略へ

凡人は戦術より戦略
体験価値を最大化する

必ず負ける未来

競争しない競争戦略

NOの美学

人生の時間の主導権を取り戻す

無知を明らかにする

失敗を共有する

人間関係をアップデートする

想像から創造へ

あとがき